学校番号	218

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新選日本史 B」　（東京書籍）						
副教材等	自主作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の歴史に関心を持って取り組む。
・日本の歴史の展開についての基本的な事柄を理解する。
・資料から有用な情報を読み取り、歴史的背景を考察する。

2　学習の到達目標

・日本の歴史の展開を世界の歴史と関連付けて考察し、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ考察することができる。
・諸資料から有用な情報を適切に読み取り、日本の伝統や文化の特色を認識することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント 確認テスト 観察	授業プリント 定期考査 確認テスト	授業プリント 観察 定期考査	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代国家の形成	・原始社会の生活と文化 旧石器時代・縄文文化について ・農耕社会の形成 弥生文化 ・律令国家の形成 飛鳥の朝廷と文化 ・摂関政治	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:古代国家の生活の様子に関心を持ち意欲的に追究しようとしている。 b: 古代・貴族文化の特色を理解し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:図から古代・貴族文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、特色を読み取っている。 d:古代・貴族文化を地理的条件と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト
2学期	武家社会の形成と近世社会の形成	・中世社会の成立 鎌倉幕府の誕生 ・武家社会の形成と東アジア 室町幕府の形成 ・ヨーロッパ文化との接触 織豊政権	○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:鎌倉文化・室町文化に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 鎌倉文化・室町文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:図や画像から武家社会や近世社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 武家社会や近世社会の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト

3学期	近世社会の形成と展開	・幕末体制の成立 江戸幕府と大名・朝廷 ・近世社会の発達 幕府政治の進展 ・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:近世社会の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:世界各国との交流の特質を見出し、近世社会の形成について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近世社会の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:近世社会の展開を社会や経済、国際情勢と関連付けて理解している。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。